

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 62-082782
(43)Date of publication of application : 16.04.1987

(51)Int.Cl.

HO4N 5/335
HO4N 5/232

(21)Application number : 60-223120

(71)Applicant : TOSHIBA CORP
TOSHIBA AUDIO VIDEO ENG CORP

(22)Date of filing : 07.10.1985

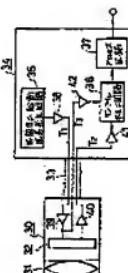
(72)Inventor : SASAKI SATOYUKI
MUKOGAWA HIROSHI
NAKAMURA TAKAHIRO

(54) REMOTE DRIVE TYPE SOLID-STATE IMAGE PICKUP DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To perform a correct signal processing by providing a head part consisting of an optical system and a solid-state image pickup element, a synchronizing and drive signal generating circuit, a control part consisting of a signal processing circuit and a multi-conductor cable.

CONSTITUTION: Signals T2, T3 are respectively inputted to a sample holding circuit 36 through buffer circuits 41, 42 of a camera control part 34. A waveform of the signal T3 is shaped according to a certain reference level and the picture signal T2 is processed based on the waveform shaped signal T3. Namely, the signal T3 is used for reading the picture signal T2 and guided to the camera control part 34 through the same type of a transmission system as the picture signal T2, so that a phase thereof coincides with that of the picture signal T2, and a synchronizing signal processing can be performed without requiring a phase correction. After the detection of an effective signal of the picture signal T2 and the removal of noise are carried out, the signal T3 is converted to a standard television signal by a process circuit 37 and outputted. Thereby, the correct signal processing can be performed.



[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

④ 公開特許公報 (A) 昭62-82782

④ Int.Cl.*

H 04 N 5/335
5/232

識別記号

府内整理番号
Z-8820-5C
B-8523-5C

④ 公開 昭和62年(1987)4月16日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

④ 発明の名称 遠隔駆動形固体画像装置

④ 特願 昭60-223120

④ 出願 昭60(1985)10月7日

④ 発明者 佐々木 智行 横浜市磯子区新杉田町8番地 東芝オーディオ・ビデオエンジニアリング株式会社開発事業所内

④ 発明者 向川 寛 横浜市磯子区新杉田町8番地 東芝オーディオ・ビデオエンジニアリング株式会社開発事業所内

④ 発明者 中村 隆広 横浜市磯子区新杉田町8番地 東芝オーディオ・ビデオエンジニアリング株式会社開発事業所内

④ 出願人 株式会社 東芝 川崎市幸区堀川町72番地

④ 出願人 東芝オーディオ・ビデオエンジニアリング株式会社 東京都港区新橋3丁目3番9号

④ 代理人 弁理士 鈴江 武彦 外2名

明細書

1. 脱明の名称

遠隔駆動形固体画像装置

2. 特許請求の範囲

(1) 固体画像素子とこの固体画像素子を駆動して画像された画像信号を読み出し処理するカメラ部と、
画像された画像信号を読み出し処理するカメラ部とを連絡分離した遠隔駆動形固体画像装置において、

固体画像素子を記した側に計算回路より基準信号を送る手段と、

上記基準信号を画像信号の画像出力信号とともに同じ伝送系を通して送り返す手段と、

上記送り返された基準信号に基づいて上記画像信号の画像出力信号を処理する手段と、
を具備したことを特徴とした遠隔駆動形固体画像装置。

(2) 上記画像素子出力信号を処理する手段は、
上記送り返された基準信号によって、上記画像素子の画像出力信号をサンプルホールドする回路を

有したことと特徴とした特許請求の範囲第1項記載の遠隔駆動形固体画像装置。

(3) 上記基準信号は固体画像素子を駆動するためのパルス信号であることを特徴とした特許請求の範囲第1項記載の遠隔駆動形固体画像装置。

3. 脱明の詳細な説明

【発明の技術分野】

この発明は、固体画像素子と、この固体画像素子を駆動して画像された画像信号を読み出し処理を行なうカメラ部算出部とを分離した遠隔駆動形固体画像装置に関する。

【発明の技術背景とその問題点】

固体画像素子とカメラ部算出部を分離し、駆動・信号処理を行なう場合、例えば第2図に示すような回路構成によって成されている。すなわち、遠隔駆動形固体画像装置は、光学系レンズ11および固体画像素子12から成るヘッド部13と、上記固体画像素子12を駆動させる同期及び駆動信号生成回

路14、位相補正回路15、サンブルホールド回路16およびアロセス回路17から成るカメラ制御部10によって構成され、上記ヘッド部13とカメラ制御部10は多心ケーブル19を介して接続されている。

このようにして構成される遮隔駆動形固体画像装置は、2次元的な面素配列を有する固体画像素子12を種々の駆動信号によって、遮隔駆動走査し、時系列的な面像信号を読み出している。すなわち同期及び駆動信号発生回路14から読み出し転送信号t₁が位相補正回路15および21を介して固体画像素子12へ出力されているものであり、上記固体画像素子12はこの読み出し転送信号t₁を受けて光学系レンズ11より照射された光量に比例する信号電荷を、面像信号t₂としてバッファ回路22および23を介してサンブルホールド回路16へ出力する。ここで、上記サンブルホールド回路16には上記同期及び駆動信号発生回路14からの信号t₁が位相補正回路15を介して位相補正され、信号t₂として入力されており、上記面像信号t₂はこの位相補正された信号t₂に基づいて信号速度され

読み出し転送信号t₃は位相補正回路15を介して、位相差を分離された信号t₄に変換されて、上記サンブルホールド回路16に入力される。サンブルホールド回路16において、上記入力信号t₄はある基準レベルV_{ref}と比較して被形容形され、上記固体画像素子からの入力信号をすなわち、面像信号t₅はこの被形容形された信号で有効分の信号抽出が行われ、(d) 図に示すような信号t₆として、アロセス回路17へ出力される。上記アロセス回路17によって上記入力信号t₄は標準テレビジョン方式の信号に変換処理され、出力される。

上記のように構成される遮隔駆動形固体画像装置にあっては、ヘッド部13とカメラ制御部10を接続する多心ケーブル19の長さ等によって読み出し転送信号t₁と面像信号t₂との間に位相差が生じるため、正確な信号処理を行なうためには、位相補正回路15を設けなければならず、距離の増加と調整の手間を必要とする。また、ヘッド部13側もしくは、カメラ制御部10側の環境変化や、多心

ケーブル19の長さによって、上記信号t₁と面像信号t₂の固体画像素子の各画素に対応した部分が分離抽出され、信号処理される。

第3図は上記信号処理を説明するための図であり、(a) 図は上記駆動及び同期信号発生回路14から出力される読み出し転送信号t₁の波形図、(b) 図は上記固体画像素子12から出力される面像信号t₂の波形図、(c) 図は上記読み出し転送信号t₁が位相補正回路15によって位相補正された信号t₃の波形図、(d) 図は上記面像信号t₂を上記信号t₃に基づいてサンブルホールドした波形図である。すなわち、(a) 図に示す読み出し転送信号t₁によって出力される面像信号t₃は(b) 図に示すように読み出し転送信号t₁に対して位相差の差れと、ノイズなどをともなって出力されてくる。これは、固体画像素子12の入出力特性および多心ケーブル19の長さ等によって生じるものであり、このため面像信号t₃はからノイズ分を除去し、結果的な信号処理を行なうために、上記同期及び駆動信号発生回路14からの

ケーブル19の長さの変化によって、さらに日々の調整を要する。

[発明の目的]

この発明は、上記のような点に恵みなされたもので、固体画像素子を遮隔駆動操作した際に生じる外的影響を受けず、正確な信号処理を行なえるようにした遮隔駆動形固体画像装置を提供することを目的としている。

[発明の概要]

すなわち、この発明に係る遮隔駆動形固体画像装置にあっては光学系と固体画像素子から成るヘッド部と、上記固体画像素子を駆動する同期及び駆動信号発生回路と、面像された面像信号を処理する信号処理回路から成る制御部と、上記ヘッド部と上記制御回路を遮隔的に接続する多心ケーブルとを具備させ、上記同期及び駆動信号発生回路からの基準信号を画像素子出力信号と共に上記信号処理回路に送り込む。上記送り込まれた基準

信号に基づいて上記画像素子出力信号を処理するようにしたものである。

[発明の実施例]

以下図面を参照してこの発明の一実施例を説明する。第1図はこの発明による追跡駆動形固体画像装置の一実施例の回路図である。被写体を捕えるヘッド部30は、光学系レンズ31と、この光学系レンズ31によって結像された被写体像を電気信号に変換し、信号電荷として蓄積する固体画像素子32により構成されており、上記ヘッド部30によって捕えられる被写体は、多点ケーブル33を介してカメラ制御部34に送られる。上記カメラ制御部34は、上記固体画像素子32を駆動させるための同期及び駆動信号発生回路35と、上記固体画像素子32からの出力信号を処理するサンプルホールド回路36と、上記サンプルホールド回路36より得た信号を、標準テレビジョン信号に変換するためのプロセス回路37から構成されている。

このようにして構成される追跡駆動形固体画像

装置は二次元的な画素配列を有する固体画像素子32をカメラ制御部34内の同期及び駆動信号発生回路34より出力される読み出し駆送信号T₁によって追跡駆動走査しているものである。すなわち、同期及び駆動信号発生回路35から出力される読み出し駆送信号T₁は、送信側の同期を確立するための種々の同期信号および固体画像素子32を駆動するための駆動信号を含み、この読み出し駆送信号T₁はバッファ回路38を介して、ヘッド部30へ出力される。上記読み出し駆送信号T₁はヘッド部30のバッファ回路39を介して、固体画像素子32に入力される。上記固体画像素子32は、上記読み出し駆送信号T₁を受けて、光学系レンズ31から照射された光量に比例する信号電荷を蓄積信号T₂として、バッファ回路40へ出力する。上記バッファ回路40は、上記固体画像素子32からの出力をバッファ回路41を介してサンプルホールド回路36へ出力する。

ここで、上記読み出し駆送信号T₁の複数の信号のうち、特に固体画像素子32から最終的に画像

信号T₂を読み出すことに使われた信号T₁が上記画像信号T₂とともに、カメラ制御部34に送り返されるように構成されている。すなわち、上記信号T₁とおよびT₂はそれぞれ、カメラ制御部34のバッファ回路41および42を介してサンプルホールド回路36に入力され、そこで上記信号T₁は、ある基準レベルによって、波形整形され上記画像信号T₂は、この波形整形された信号T₁に基づいて処理される。すなわち、上記信号T₂は上記画像信号T₂を読み出すことによって使われた信号であり、かつ画像信号T₂と同様な伝送系を通してカメラ制御部34に導かれていたため、画像信号T₂の使用と一致しており、位相補正の必要なく同期信号処理を行なう事ができる。このようにして、上記画像信号T₂の有効信号の抽出とノイズの除去が行われた後、プロセス回路37によって標準テレビジョン信号に変換処理され、威力される。
尚、カメラ制御部34側のバッファ回路41および42と、ヘッド部30側のバッファ回路39および40の

特性は、同じ特性を持つように設計されており、ここでの非一様性の発生は避けられるものである。また、ヘッド部30側での環境変化に対応し、更に固体画像素子32の特性変化が激しい場合には、例えば上記信号T₁を固体画像素子32に送り込んだ分から取り出し、画像信号T₂と同じように固体画像素子32の特性の影響を受けるようにしてよい。また、以上述べた実施例では、サンプルホールド回路36によって画像信号T₂を処理しているが、色フィルターと一緒にした固体画像素子を1枚用いた、単板カラー固体画像素子においては、複数の色信号を同期駆波によって抽出する回路を使用することがあり、そのような回路にも本発明を使用することが可能である。

[発明の効果]

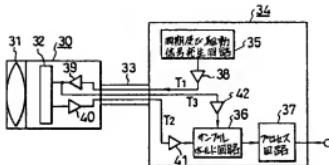
以上のようにこの発明によれば、固体画像素子を駆動する基準信号を、固体画像素子出力信号と共に制御部に送り返し、上記送り返された基準信号に基づいて、上記画像素子出力信号を処理する

ようにしたことにより、簡単かつ小規模な回路構成で固体遮像素子を逐場駆動した際に生じる外的影響を受けない正確な信号処理を行なうことができる。

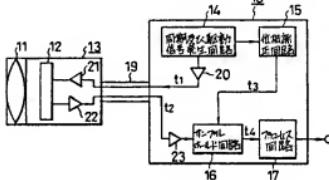
4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の一実施例を説明する逐場駆動形固体遮像装置の回路図、第2図は逐場駆動形固体遮像装置の回路図、第3図(「(a)」～(d)」)は上記從来の逐場駆動形固体遮像装置の信号処理を説明するための波形図である。

31…光学系レンズ、32…固体遮像素子、33…多心ケーブル、35…同期及び駆動信号発生回路、36…サンプルホールド回路、37…プロセス回路。

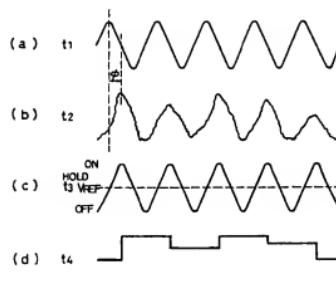


第1図



第2図

出願人代理人 弁理士 鈴 江 武 茂



第3図